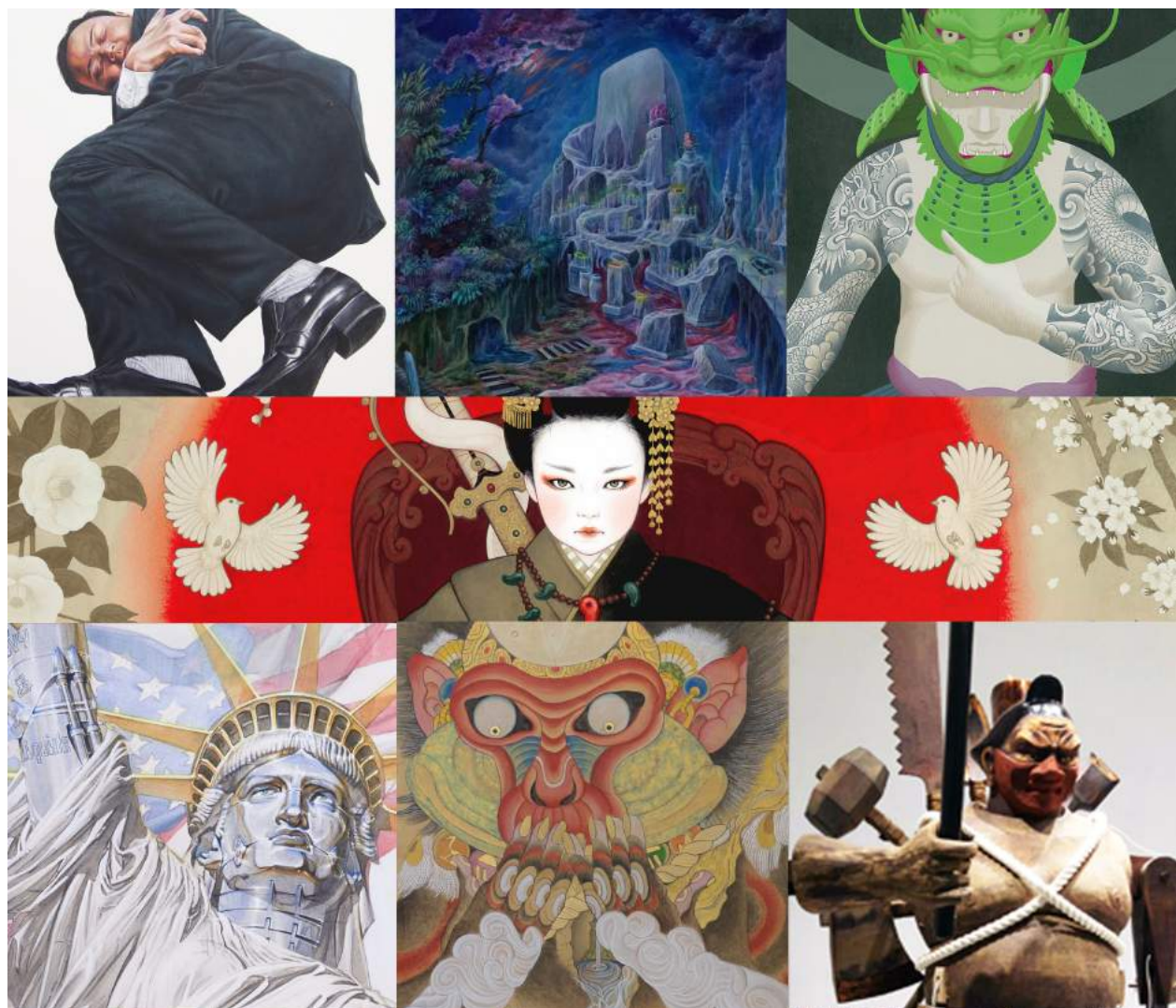


TENGA! 3.0

天明屋尚、空山基、浅野健一、伊藤大朗、feebee、加藤美紀、影山萌子

2017年2月8日(水) - 2月25日(土)

オープニングレセプション: 2017/2/8 (水) 19:00-21:00



hpgrp GALLERY TOKYOより、現代美術家・天明屋尚キュレーションによるグループ展「Tengai 3.0」の開催をご案内申し上げます。

禅やわび・さびといったミニマルな茶人的な美の系譜とは一線を画し、あくまで日本のストリート感覚に根差した武人的な美の系譜を一貫して追及してきた天明屋尚。アカデミックで因習的な美の規範からすれば一見、異端視、悪趣味ともされる華美で型破りな表現体系を2010年にBASARAとして抽出しました。

その証左を、室町時代のバサラ者や戦国時代の傾奇者、そして戦国・江戸期の型破りな奇想絵師といった当時のイノベーターたちのあり方に見出してきました。

2014年から始動したTENGA!プロジェクトは、天明屋がBASARAの理念を体現する鬼才にして奇想の作家を発掘・紹介するプロジェクトとなります。第3弾を迎える今展は、現代美術やイラストレーションといった従来の枠組みを越えて若手から大御所まで、技法もジャンルも様々な7人で編制しました。武者絵風刺絵、美人画花鳥画、からくり人形といった要素を現代にリポートさせます。

本展は2016年10月にニューヨークのhpgrp GALLERYでも開催され好評を博しました。

禅やわび・さびといった茶人的な日本の美の側面ではなく、型破りで革新的な武人的な日本の美の側面を紹介するまたとない機会となります。



1. Hisashi Tenmyouyouya *Bujin zazouzu*, 2016, 400x580mm,
Black Gesso and Acrylic on Wood
2. Hajime Sorayama *Untitled*, 2016, 711x508mm, Acrylic on Illustration board
3. Kenichi Asano *Bikijin*, 2010, 2100x3000x2000mm, Mixed Media
4. Hiroaki Ito *Untitled-Sleeping*, 2016, 914x711mm, Acrylic on Canvas
5. feebee *Three wise monkeys The mouth*, 2016, 914x711mm,
Japanese Painting on Japanese Paper on Wood
6. Miiki Kato *Hinomoto*, 2016, 457x508mm, Gouache on Paper
7. Moeko Kageyama *tombstones*, 2016, 914x711mm, Oil on Canvas

(作家紹介)

天明屋尚は、自身が得意とする武人像の新作を発表。海外からのステレオタイプな視線すらも取り込みつつ、華美にして覇格の威風堂々たる日本の姿を体現する。空山基は、拝金主義やギャンブル資本主義を揶揄した自由の女神像とヒトラー像が対になった新作を発表。物議を醸し出す問題作となる。浅野健一は憑依や傀儡をテーマに、LED と木彫を組み合わせた新作を発表。新旧の技術を取り混ぜ、神格化された武人や変身ヒーローといった強者のイメージを斬新な形で具現化する。伊藤大朗は、日本のサラリーマンの悲哀を描いた男性像を発表。究極の謝罪として土下座する姿は、武人による切腹をも彷彿とさせ、日本人に内在する組織への忠誠、侍的なあり方を逆説的に表現する。feebee は、華美な意匠を数多く織り込み、獣性を色濃く宿した神獣像を描出。幻想的で躍動感ある日本画となる。加藤美紀は、従来の美人画の枠を超えたモダンな和装の女性像を提出。着物と背景を巧みに組み合わせ、時代の空気を軽やかに切り取る。影山萌子は、まだ学生ながら天明屋が注目する期待の若武者。北斎の描いた滝の絵にあるような錯視的な世界を表出し、異世界の扉を開く。

以上7人、いずれも個性豊かな鬼才、奇想家による異色の饗宴となる。

hpgrp GALLERY TOKYO (エイチピージーアールピー ギャラリートウキョウ)

〒107-0062 東京都港区南青山5-7-17 小原流会館 B1F

03-3797-1507

art@hpgrp.com

http://hpgrpgallery.com

営業時間 12時 ~ 20時

月曜・毎月最終日曜閉廊

